

友田たもつ

県政レポート(Vol.29)

Vol.29 22-3月

編集・発行

友田たもつ事務所

(〒750-0014)

下関市岬之町8番16号コーエービル2F

TEL.083-231-8080

FAX.083-233-9250

●メールアドレス●

tomodatamotu@viola.ocn.ne.jp



県議会 代表質問 (令和3年9月)

山口県令和4年度当初予算の概要

施策の概要

感染拡大の防止と経済活性化のための施策重点化

- ① 感染防止対策の強化と感染拡大に備えた体制・環境整備
 - 本県の感染管理体制の向上に向けた感染症管理認定看護師の養成を支援
 - ワクチンの3回目接種を円滑に進めるための体制整備や接種促進のための財政支援を実施
 - 感染拡大防止に向けた検査体制、医療提供体制、保健所等の体制については、これまでに引き続き充実強化
- ② 県民生活の安定確保
 - 医療的ケア児やその家族に対する総合的な支援体制の構築や保育所等における医療的ケア児の受入体制を整備
 - 家族の世話や介護により子どもらしく生活できないヤングケアラーの支援体制整備を推進
 - 結婚披露宴を実施するカップルに対する支援金を支給
- ③ 雇用の維持・確保と事業継続のための県内経済の下支え
 - テレワークやウェブ会議の継続的な利用促進や、DX技術を活用した「ミニ二ヶーション円滑化や職場環境改善等」を図り、「新しい働き方スタイル」の実践を着実に推進
- ④ 消費需要の喚起
 - 国のGOTOトラベル事業とその仕組みを活用した宿泊料金助成等による観光需要を喚起(旅行代金最大20%補助(上限あり)、クーポン上限3千円)
 - 国のGOTO Eat 事業とその仕組み

コロナの時代に対応するための施策重点化・加速化

- ① デジタル化の推進による県づくり全体の取組加速化
 - 全県的なDXを推進するため、官民協働フォーラムの活動促進やDXの推進拠点「Y-BASE」を核とした地域課題の解決、新たな価値の創造を推進
 - 全県的なDXの推進に向けた官民のデジタル人材の育成を推進
 - デジタル機器の活用による不安のある高齢者等が、デジタルの楽しさや利便性を理解し、豊かな生活を実現できるようデジタルデバイス対策を実施
 - ICTを活用した5G環境での遠隔医療支援体制の構築と離島など多様な現場で活用可能な新たなデジタル技術の展開により、遠隔医療の取組の加速化を推進
 - ICTの活用による子どもと里親とのマッチング業務の効率化を図るほか、里親の養育能力向上に向けた支援体制を整備
 - 中小企業におけるDX化の裾野の加速的拡大を図るため、フェーズに応じた切れ目ない支援を総合的に展開
 - リアルとオンラインを併用した新たな

を活用したプレミアム食券による飲食需要を喚起(額面1万円→8千円で販売)プレミアム率25%)

- 県産農林水産物の消費需要を喚起するキャンペーンを実施
- 県産米の増量販売(米5kgに1kg増量、5kg価格で据置き)
- 県産花き・日本酒(1500円以上で500円割引)
- 高級魚加工品(50%割引)

展示会・商談会への対応に向けた取組を支援

- 観光地が地域ぐるみでデータ分析活用スキルを高め、観光地域全体が稼ぐ力を身に付けられるよう、観光地経営のDXモデルを形成
- 伝統芸能をモデルとした体験コンテンツをAI技術の活用により創出し、伝統芸能振興と文化観光周遊の促進に向けた取組を展開
- これまでの研究で培われた産学公連携の枠組みを活用し、熟練者が持つ「匠の技」をデジタル技術で再現・創出し、本県独自の農林漁業DXを促進

② 本県への新たな人の流れの創出拡大加速化

- 都市部の働き手を積極的に受け入れるため、県庁内に設置した地方創生テレワークのモデルオフィスを運営
- 国の地方創生移住支援金を活用し、テレワーカーや県内の地域と強い関わりのある関係人口を対象に、本県への移住を促進
- 休暇先でテレワークを行うワーケーションを県内に積極的に呼び込み、関係人口の拡大を促進
- 自然豊かな本県のポテンシャルを活かしたキャンプとアウトドアを結びつけた「スポーツツーリズム」を拡大するとともに、新たな観光需要を喚起し県内外からの誘客を促進

③ 「新たな日常」を支える人材育成加速化

- 民間団体等が「新たな時代の人づくり推進方針」に沿って学校や企業等と連携協働して行う人づくりの新たな取組に対する立ち上がり支援を実施

ごあいさつ

山口県議会議員 自由民主党山口県支部連合会幹事長

友田たもつ

皆様方に於かれましては、如何お過ごしでしょうか。令和4年に入りましたが、新たに驚異的な感染力を持つオミクロン株という新型コロナウイルス感染症が蔓延して、山口県内全域に於いて多数の感染者を出しているところですので、私の周辺にも感染された方が多数おられます。

しかしながら幸いにして全員が無症状または軽症ということでは事なきを得ている状況です。さて、今年2月初旬に県知事選挙が執行され、現職の村岡嗣政氏が見事三選を果たされました。その関係で令和4年度の予算策定が少し遅れました。県議会の予算を審議する議会も、2月末日からの開会となり例年より遅くなりました。新年度の予算の重点施策は、「県民の皆様方の命と安全を守る」ということを大きな目標としております。

また、直面する新型コロナウイルス感染症の危機を乗り越え、「コロナの時代」にあっても活気に満ちた山口県の未来を切り拓いていくため、山口県の新たな出発と県全体の経済の再生に全力をあげて取り組んでいく施策が多く盛り込まれた予算となつていきます。私達とコロナとの戦いは、当初より大きく変わってまいりました。これからの「ウィズコロナ」との生活の中で経済を大きく再生しなおして山口県の更なる成長と発展につなげていかななくてはならないと思っております。

私も県議会議員の一人として、また自由民主党山口県支部連合会の幹事長として、三期目で円熟期を迎えた村岡嗣政知事と連携をとりながら、人口減少問題をはじめ山口県の様々な課題に取り組む、県政の発展の為に全身全霊をかけて、精進して行きたいと思っております。皆様方の御指導と御協力を切にお願い申し上げます。末筆に、まだまだ終息の見えないコロナ禍の中、皆様方がご健勝であります事をお祈りいたします。